

No.5
2026

福士の“F”Faith in the Future

一緒に青森の未来を創る

地域の声を国の政策へ届ける

課題と向き合い、毎月活動レポートをお届けします。

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

青森県版号外

立憲民主党 立憲民主編集部

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅ビル7F

Tel.03-3595-9988/fax.03-3595-9088

立憲民主党 青森県参議院選挙区第2総支部

〒030-0822 青森市中央1-5-1 中央1丁目ビル2F

Tel. 017-718-8512/fax. 017-718-8513

8

August

7月24日発行

参議院議員

福士 ますみ

活動
レポート

Report

Report

7/16【経済産業委員会】核燃料サイクルと再エネの現場を追及

「六ヶ所竣工、突如なぜ遅れる可能性に言及?!」

これまで一貫して26年度中の竣工目標に変更はないとしてきた六ヶ所再処理工場について、経産省は青森県知事との面談で、突如竣工目標に「遅れる可能性がある」と言及しました。この発言に至った理由について福士は、「どのような状況から遅れる可能性を認めたのか」と質問。当初完工までの工程表には含まれていなかった「高レベル放射性廃液の処理を、完工前に実施する」方針を原燃が示したことが要因の一つであると経産省は説明しました。その理由として、貯蔵タンクに大量の廃液がたまっている状況は重大事故のリスクがあるとの原子力規制委員会からの指摘を受け、「施設全体の信頼性を早期に確認する観点から、積極的に（完工前の廃液処理を）対応すると判断した。」ことを併せて答弁。福士は、当初工程表にはなかった「完工前の廃液処理」がなぜ急に湧いて出てきたのか？はたまたこの新工程の追加によって、今年度中の竣工目標は一層危ういのではないか？と追求。経産省から納得のいく説明はなく、「竣工目標から遅れる可能性は出てきたが、まだ遅れると決まったわけではない。」と繰り返しました。しかし各工程にかかる期間を逆算すると到底竣工目標に間に合うとは思えず、工程表とタイムリミットの矛盾は膨らむ一方です。



「使用済核燃料の搬入凍結は、解除されるのか?!」

3月末に青森県知事はむつ市中間貯蔵施設への使用済核燃料の搬入を凍結。凍結解除を判断する上で、搬出先である六ヶ所再処理工場の竣工に向けた実

現性の高い新たな工程が示されることを重要視していることについて福士は、どのような工程を示せば搬入凍結が解除されるか、赤澤経産大臣に質問。赤澤大臣は答弁で、「①日本原燃に対し、信頼性を高める取り組みに関する詳細検討を早急に進めるよう強く指導していく②使用済燃料対策推進協議会の枠組みを活用し、国も工程表の策定に主体的に参加していく③進捗を可視化して管理する方法の構築を指導し、産業界全体で支援体制を調整する④宮下知事の要望に応えられるよう実現性の高い工程表の策定に官民一体で全力で取り組む。」と発言しました。

「再エネ拡大、自然環境との共生は?!」

国は再生可能エネルギーの主力電源化に取り組んでいる一方で、再エネ事業を巡っては地域との相互理解や自然環境への配慮が課題として指摘される事例が後を絶ちません。この実態について福士は、現状認識と対策について経産省と環境省双方に質問。例として十和田市の陸上風力計画区域内が、国の天然記念物であるイヌワシの飛行ルートと重なっているとする市民団体の観察記録を挙げ、開発計画のために事業者が行う環境影響評価が、事業者の恣意的なデータ選定や不正を生まないよう、科学的見に基づいた審査や、調査の中立性を確保するための仕組みづくりも必要であると訴えました。再エネ促進と希少種保護の両立といった、環境への配慮が置き去りにされない、将来に禍根を残さない法整備も検討していかなければなりません。

Profile プロフィール

1965年3月24日生まれ、五所川原市金木町出身、東北町立寒水小学校（現 東北小学校）、平内町立小湊中学校、青森県立青森高等学校（33回生）、日本大学法学部新聞学科（牧田ゼミ）
（株）青森テレビATV（アナウンサー/報道記者/プロデューサー）
（株）BLUE LINK PROJECT（「あおもり藍」を活用した商品開発・販売）

福士ますみ事務所

〒030-0822 青森県青森市中央1丁目5番1号 中央1丁目ビル2階
tel. 017-718-8512 / fax. 017-718-8513
e-mail fukushimasumi.office@gmail.com
東京事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1102号
tel. 03-6550-1102 / fax. 03-6551-1102

公式HP



Instagram



生活
どまんなか
もっと良い未来へ

あおもり
愛



6/14~21

五所川原市議補選、黒滝久志候補、感謝と再出発へ

黒滝さんは五所川原市議補選で次点という結果となりました。ご支援を賜りました皆さまに、心から感謝申し上げます。雪かきやお年寄りの送迎など、地道なボランティアを重ね、一人ひとりの声に耳を傾けてきた黒滝さん。その姿勢は結果に関わらず変わりません。「誰一人取り残さない福祉のまちへ」の願いを胸に、令和9年1月の次期市議選に向けて再出発する黒滝さんに、引き続き温かいご支援とご声援をお願いいたします。



6/20

旬到来！甘さ光る南部町
サクランボ狩り

果樹の里・南部町のサクランボ狩りセレモニーに出席。生産組合の蹴場会長の果樹園で「佐藤錦」「紅秀峰」、青森県オリジナル品種「ジュノハート」を視察しました。鈴なりで大粒でハート形の美しさに魅了。翌日の初せりでは一箱9粒入り45万円の高値がつきました。



6/28

誰もが帰れる街へ、
多様性と共に歩む

青森駅前広場で開催された第13回青森レインボーパレードに参加しました。多様性を認め合える社会を目指し、故郷に帰れるまちにという思いから続けられてきた取り組みです。全ての人に居心地の良い風が吹く青森を目指し、共に歩みました。



6/29

フュージョン研究施設で
開発の最前線を視察

フュージョンエネルギー推進議員連盟の一員として、量子科学技術研究開発機構・那珂フュージョン科学研究所を視察。JT-60SA本体室や高周波加熱試験装置を見学し、次世代エネルギーの実用化に向けた研究開発の最前線について学びました。



6/30

奨学金返済負担軽減へ
意見交換

中央労協より、有利子貸与型奨学金の金利上昇に伴う返済負担軽減の要請を受け、福士も意見交換会に参加しました。無利子型奨学金の拡充や利子負担ゼロの仕組みづくりなど、返済に苦しむ若者を生み出さない奨学金制度の実現を目指し、熱心に活発な議論を交わしました。



7/1

真の再審法改正へ！
国会請願デモに参加

えん罪犠牲者等約500名が国会前を行進し、公平・公正な裁判の保証を訴えました。政府案は「確実に・迅速に」えん罪被害者を救済する内容になっていません。えん罪被害に苦しむ方々が国会議員に助けを求めています。引き続き、救済に向けて全力で取り組んでいきます。



7/4

地域を「支える」
社会福祉士の声、政策へ

リンクステーションホール青森で開催された日本社会福祉士会全国大会に出席。成年後見人の役割やスクールソーシャルワーカーの実情など現場の声を伺いました。過去最多を更新する不登校の状況も伺い、処遇改善や社会的認知度向上に向け、今後の政策に生かしてまいります。



Message 一福士ますみから皆さまへ

国会最終版の7月末、皇室典範改正法案・国旗損壊等処罰法案・再審法改正案などが可決成立しました。立憲民主党はいずれも反対。どの法案も十分な審議が行われず、法律の必要性が不可解なもの、内容に疑問の残るものばかりです。今国会では、政府与党＝高市政権の恣意的で横暴な国会運営と審議が繰り返されました。果たして本当に国民に目を向けた、耳を傾けた政治が行われているのでしょうか。中東情勢などの影響による苦しい国民生活は一向に救われていません。もっと良い未来へ、いまこそ「生活どまんか」の政策が必要です！

